

研究発表プログラム

●●●第3日 3月12日(火) 9:00~11:34 研究発表I●●●

発表セッション1 【座長:蓬田 高正(天理大学)】

9:00~9:19	日本でのスキーバッチテストの始まりについて ○新井 博(日本福祉大学)
9:20~9:39	中華圏ツーリストによる日本のスキーリゾートへの来訪分析 新潟県湯沢町のスキー場における対面調査より ○吉沢 直(筑波大学大学院), 呉羽 正昭(筑波大学)
9:40~9:59	オーストリアのスキーリゾートにおける夏季ツーリズムの特性 - チロル州エッツタールの事例 - ○呉羽 正昭(筑波大), 吉沢 直(筑波大・大学院), 松村 健太郎(筑波大・大学院)
10:00~10:19	2018 平昌冬季五輪と江原道の蓄積戦略 ○金 容旭(漢陽大学), 関 允淑(筑波大学)

休憩 (10:20~10:35)

発表セッション2 【座長:渡邊 仁(筑波大学)】

10:35~10:54	2006 トリノパラリンピック競技大会の3カテゴリー制の導入 ~アルペンスキーとノルディックスキーのクラス分けに着目して~ ○安藤佳代子, 山根真紀, 新井博(日本福祉大学スポーツ科学部)
10:55~11:14	スキー・インストラクターのための力学教材の開発(第1報) ○多田 憲孝(大阪国際大学)
11:15~11:34	聴覚障害者を対象にしたスキー指導のための指導情報提示システムの開発 ○道本 裕大, 向後 佑香, 黒木 速人(筑波技術大学)

●●●第4日 3月13日(水) 9:00~11:54 研究発表Ⅱ●●●

発表セッション3 【座長:伴 好彦(武蔵野短期大学)】

9:00~9:19	中学女子アルペンスキー選手の無酸素性パワーと競技力の関係 ○三浦 哲, 阿久津 菜摘, 渡邊 歩実, 荒川 正昭(新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター)
9:20~9:39	スノーボードのジャンプ競技大会における選手の生理状態計測 ○松村 聖司, 渡辺 謙, 木村 聡貴, 柏野 牧夫(NTT コミュニケーション科学基礎研究所)
9:40~9:59	ターンにおけるスノーボーダーの視線行動に関する研究 ○齊藤 亜由子, 矢本 雅史, 辻 尚史, 宮脇 和人(秋田高専)
10:00~10:19	実滑走情報を用いたカービングターンにおける加速・減速要素の解析に関する研究 ○廣瀬 圭(テック技販・信州大学), 近藤 亜希子, 千葉 遥(テック技販) 伏見 知何子(Area51s)

休憩(10:20~10:35)

発表セッション4 【座長:三浦 哲(新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター)】

10:35~10:54	スキー・スノーボード事故に係る損害賠償請求裁判の状況 — さいたま地裁熊谷支部平成30年2月5日判決を題材に — ○石塚明人
10:55~11:14	人工膝関節全置換術後にスキーに復帰可能となった変形性膝関節症の1例 ○藤田 裕(京都桂病院 整形外科 人工関節研究センター ¹⁾), 野中崇大(京都桂病院リハビリテーションセンター ²⁾), 原 弘明 ²⁾), 福井宣善 ²⁾), 福塚美穂 ²⁾), 原田豪人 ¹⁾), 片岡正尚 ¹⁾), 宮崎博子 ²⁾
11:15~11:34	クロスカントリースキー滑走に高次のスキー板振動が与える影響 — 200Hz超振動易惹起構造のシットスキー開発を目的として— ○塩野谷 明, 阿部 大, 木本 理可, 永森 正仁, 内山 尚志, 綿引 宣道(長岡技術科学大), 今村 啓(R. S. S), 山本 敬三, 竹田 唯史(北翔大学), 監物 勇介(管テック), 飯星 龍一(OX エンジニアリグ), 河田 剛毅(長岡工業高等専門学校)
11:35~11:54	スキー活動が自律神経機能に及ぼす影響 ○蓬田高正(天理大学体育学部), 倉恒大輔((株)疲労研究所, 大阪市立大学)